

第26回BA運営委員会の 結果について

文部科学省 研究開発局
研究開発戦略官（核融合・原子力国際協力担当） 付

日程： 令和2年12月2日（水）

※新型コロナウイルスの感染拡大のため、前回に引き続きテレビ会議により開催

出席者：

（日本）堀内 義規 文部科学省大臣官房審議官（研究開発局担当） ほか

（欧州）マッシモ・ガリバ 欧州委員会エネルギー総局副総局長 ほか

主な議題：

1. 3事業の進捗状況の報告

①国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動(IFMIF/EVEDA)事業

②国際核融合エネルギー研究センター（IFERC）事業

③サテライト・トカマク計画（STP）事業

2. JT-60SA運転開始記念式典について

3. その他（青森県及び六ヶ所村によるホストサポート状況の紹介、次回運営委員会の開催時期・場所等）

BA運営委員会(審議官級)では、IFMIF/EVEDA、IFERC、サテライト・トカマク計画の3事業について、事業の進展を確認するとともに、2021年の作業計画等について議論。

1.① 国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動 (IFMIF/EVEDA) 事業

- ▶ 長パルスビーム試運転に必要な機器の据付が終了し、試運転に向けた調整が進展。
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大によるスケジュールの遅延が生じたが、遅延を最小化するための事業チームの努力を確認。
- ▶ IFERC事業の協力の下、新しいLIPAc遠隔実験制御室の整備が完了。

1.② 国際核融合エネルギー研究センター (IFERC) 事業

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大による影響は非常に小さく、事業が順調に進展。
- ▶ ITER機構、IFMIF/EVEDA事業、STP事業との遠隔参加システムの開発に貢献。

1.③ サテライト・トカマク計画 (STP) 事業

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大によるスケジュールの遅延が生じたものの、初プラズマに向けた調整が順調に進展。
- ▶ JT-60SAの組立、初プラズマに向けた調整運転の知見がITERの運転に貢献することを確認。

2. JT-60SA運転開始記念式典

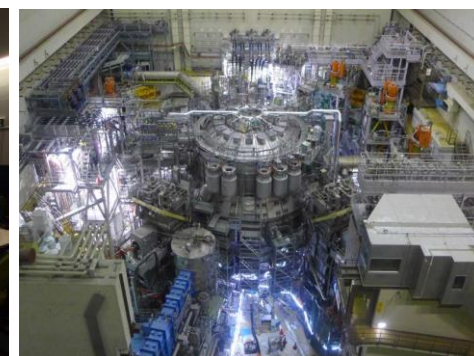
- ▶ JT-60SAの初プラズマに向けた調整運転が順調に進展していることから、組立完了等これまでのマイルストーン達成及び運転開始を記念する式典を来春日本で実施。

3. その他

- ▶ 六ヶ所サイトにおける欧州研究者、技術者及びその家族への高い水準の生活支援・教育支援に対する青森県及び六ヶ所村の多大な努力に感謝の意を表明。
- ▶ 次回第27回BA運営委員会は、2021年4月に日本（茨城県那珂市）にて開催予定。



LIPAC遠隔実験制御室



JT-60SA